

キンボールスポーツ講習会マニュアル

普及広報委員会

全国の講習会で教える、初心者の為の内容です。
フレンドリーカップにおけるビギナー部門のベースになります。

☆講習会での大前提

- レフリーは反則にならないように声をかけながら進める
 - ミスで自滅するよりヒットを決めるのを重視
- コール前に得点を見るようにレフリーがうながす
 - 得点板を必ず見てトップコールの意識付けをする
- コールは原則ヒットするプレーヤー（全員が順番に打つ）
 - みんなで大きな声を出すことで動きも連帯も良くなる
- 3人目が触ったら止まる（止まるように指導）
 - メリハリをつけてリズムよく進行

《反則》

- レシーブミス
- アウトサイド
- トゥフェイス

《レフリー裁量》 → リプレーまたは継続でもよい

- コールミス
- コンタクトミス

《リプレー》 → 距離と角度を再確認してもう一度

- ショートヒット
- ダウンワードヒット

※レフリーはリズムよく攻守交代となるように声をかけてください。
リプレーする場合も、「本来は反則である」という説明も忘れずに。
講習会体験者はジャパンオープンのビギナー部門に参加できるように、
反則についてもできるだけ説明しましょう

ジャパンオープン・フレンドリーカップ

ビギナー部門

講習会でリプレーであったものも大会では反則を取ることを参加チームに周知する。

試合前にレフリーは各チームに反則の確認をする。

試合中に声をかけてフォローするが、反則はしっかり取る。

《反則》

- ・レシーブミス
- ・アウトサイド
- ・トゥワイス
- ・コールミス
- ・コンタクトミス
- ・ショートヒット
- ・ダウンワードヒット
- ・トゥーメニー

《リプレー》

危険ですので口頭注意してください。

- ・イリーガルディフェンス（ボールから 1.8m 以内のレシーブ）
- ・イリーガルオフense（片手でのヒット）

※ウォーキングについては反則を取りませんが、レフリーが声かけして3人目が触ったら止まるようにしましょう。

ビギナー部門に出場したチームには継続して楽しんでもらうために地元チームの紹介や、練習場所の情報提供をしていきましょう！